

♠ステップ1

○「ぼく」の行動は、全く（100%）正しかったのだろうか？間違っていたのだろうか？

間違っていた
正しかった
間違っていたとも言えない

みんなそう思うの？

♥ステップ2

なぜ、そう思ったの？

困っている人がいればゆずるべきだ
必ず席をゆずるといふ決まりはない
「ぼく」には宿題をするという座る理由があった

優先席ではないのにゆずらないといけないの？

決まりではないのになぜ席をゆずるの？

宿題って座る理由？

♣ステップ3

○では、なぜ「ぼく」は顔をかくしたのだろうか？

堂々としていればよかった
気付かないふりをした
はずかしかった

○確かにルール違反ではないけど、家族がやっていたらどうだろう？

どうして気づかないふりをするの？

なぜ、はずかしいの？

別にかっこわるくはない

やっぱりかっこ悪いな

♠ステップ1

*まわりの人の立場も考えてみましょう

○松葉づえをついた男性の行動は、正しかったのだろうか？まちがっていたのだろうか？

○まわりの人たちは正しかったのだろうか？

○母親は正しかった？

○赤ちゃんはどうだろう？

間違っていた
正しかった
間違っていたとも言えない

♥ステップ2

なぜ、そう思ったの？

困っている人を助けようと思った行動だから正しい
松葉づえをついた人は席をゆずられる側でゆずるべきではない
周りの人たちこそ、率先してゆずるべき
母親は優先座席の前に行くべきだった
赤ちゃんは自分で判断できない

♣ステップ3

○でも、松葉づえをついた男性はうそをついているが、うそをつくことはいいのだろうか？

うそをつくの
は、よくない
この場合はうそをついてもいい
「いいうそ」と「悪いうそ」がある

みんなそう思うの？

「いいうそ」ってどんなうそ？

相手のためを思ってつくうそ

◆ステップ4

○相手のためを思って行動するということは、どういうことだと思いますか。

相手の気持ちや体場に立って考える
相手の気持ちを理解する
ルール違反は、いけないけど、違反はしていないけど、思いやりを欠いた行動は、かっこ悪い

授業展開のポイント

- ・ステップ1,2 (♠♥) では、登場人物のそれぞれの立場を考え、立場により異なる意見や考えがあることを考えさせます。
- ・ステップ3 (♣) では、単に席をゆずる、ゆずらないという行為のみが着目されるのではなく、それぞれの行為や思いを違う視点から考えることができるように発問を構成します。
- ・ステップ4 (◆) では、本時のねらいである「思いやり」について考えを深める場面を設定します。

指導上の留意点

- ・「思いやり」の大切さを学ぶのではなく、「思いやる気持ちを持つ」とはということなのかを考えさせる時間です。
- ・「社会のルール」と「心からの思いやり」の関係から、決まりでなくても相手を思い行動することの意義を考えることも大切です。
- ・子どもたちには、その結論に至った理由は何なのかを考えさせましょう。
- ・授業の最後に、この時間に学んだことについて振り返り、記述させることで、学びを深めるとともに評価を行う工夫をしましょう。